

1. 活動のテーマ：光と影と色

テーマの設定理由：“ひかりのへや”と呼ばれるアトリエ空間がある。主に自由あそびの時間に子どもが自由に来てあそぶ空間である。

アトリエ空間を一つのインスタレーション（空間全体を作品として表現するアート）と位置付けており、この空間は“光と影”そして“色”が相互に影響し合うことでもたらされる“美しさ”に刺激され、子ども自身が多様な“きれい”“おもしろい”“ふしぎ”と出会うことや、さまざまな発見や探求を重ねていく場になっている。それは、内面が豊かに育まれていくきっかけとなることを目的とし、子どもたちの興味関心をくすぐるような環境構成が意識され、五感から触発されることを期待した導入でもある。このようなねらい＝テーマのなかで、子どもたちが想像的にあそぶ姿を3つの探求活動としてとらえ、そのプロセスを記載する。

2. 活動スケジュール

- ① 「色」 4月～3月（週2～3回）計78回
- ② 「はいしゃさんごっこ」 5月～7月（週2～3回）計18回
- ③ 「光との出会い」 7月～3月（週1～3回）計28回

3. 探究活動の実践 ＜活動の内容＞

①「色」

ひかりのへやでのあそびを積み重ねてきた年中・年長クラスの子どもたちは、“光と影と色”の相互関係が生み出す“美しさ”をきっかけに自発的に実験し、変化するしなやかな色の違いによる印象の違い、色々なマテリアルを試し、組み合わせ、楽しさを見出している。色がもたらす効果から、心動かされ、探求する姿がみられた。



- ・色と影のシルエットによって魅力的に映し出されるモチーフ
- ・色彩豊かなマテリアルに加え、透明のマテリアルもある
- ・重なることで、新しい形や模様に見える（色に影響されない変化）
- ・「これもきれいだよ」「こっちもきれいなあおになる」（スクリーンではなく、プロジェクターにあてながら）



- ・「うちゅうみたい」「みどりになった」「つぎはこっちをおいてみる」と自らいろいろなマテリアルから選択をして、試している。
- ・探究心を見守りつつ、「こっちの色はどうだろう?」「この色はどんな感じがする?」「ひっくり返したらどうなる?」と提案したり、一緒に試す。
- ・「あつかんじ」「つめたそう」「ひっくりかえしたのにこっちがうえ!」と言葉にして伝えたり、そのイメージから新しい発想が生まれる。

この空間では、ひとりでじっくり遊びを楽しむ子も多くみられるが、何か発見して、大人に伝えてその不思議さを共有し、またそれを見たほかの子どもが興味をもって同じマテリアルを持ってきて試したり、その変化を共感しあう姿が自然とみられる。



アクリル積み木・パイカラーボトル（パウチ）・アイスキューブ・プラコップ・セロファン・アクリルおはじき等光を透過する色彩豊かなマテリアル、反対に色のない透明なもの、半透明なものなど、比較できる素材感のものも揃える。ライトテーブルに同系色でまとめたり、プロジェクターに投影したり、光を当てて色の影が見えるよう設定するなど、ひかりのへやに入った時に視覚から心動かすような環境構成を心がけた。

色が豊かにあることがより幻想的な空間をつくり、あそびのイメージをふくらませたり、創造的な探求のきっかけとなる。そのことは、②の「はいしゃさんごっこ」でより明確なイメージとして表れた。

②年中・年長クラスによる光と影の遊びの中で生まれた「はいしゃさんごっこ」

あそびのプロセスをまとめたドキュメンテーション。(以下資料)

学校法人 八幡学園 やはた幼稚園

○ 事例：はいしゃさんごっこ

・アイスクューブ



なんかこれ、
歯みたいだね

・ピンクのストロー



歯磨きしてみよう！

・カラーセロファン

・アクリル積み木



口の中の汚れとか、残った
食べ物が詰まってる！

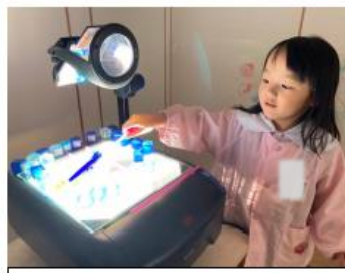
・プラスチックのボウル

・カラーセロファンで作った口蓋垂



こうしたらもっと口の中みたい！

・OHP



綺麗に歯磨きしましょう

・カラーセロファンとストロー



歯ブラシを作りたい！

・フレキシブルLEDライト



ここに汚れがありますね！

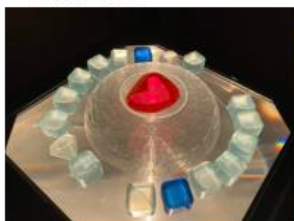
・フレキシブルLEDライト、アルミホイル（歯石取り）（歯磨き粉）



はい大きく口を開けてくださいねー！

○ 環境構成

・OHPの上



・ストロー
・セロファン
（歯ブラシ、歯磨き粉、歯石取り）



・アルミホイル
・クッション材
（歯ブラシ、歯磨き粉、歯石取り）



・プラカップ、洗濯糊、ボトル（お薬）
・アルミホイルの芯（スピットン）



・アクリルボード（看板）
・はいしゃさんごっこの全体



「はいしゃさんごっこ」というあそびが広がっていき、自然とそれぞれがその時にやりたい役（歯医者さん、患者さん等）になりきって楽しんでいた。

続けていくなかで、更にリアリティのある設定になるよう歯ブラシ、歯磨き粉、治療器具等を用意したところ、「はぶらしをつくりたい」との子どもたちの声から、一緒に歯ブラシを作ったり、アクリルパーテーションを仕切りにしておくと「はいしゃさん」と看板の文字を描いたり、段々と子どもたち自身で作り上げる「はいしゃさん」の空間が生まれてきて、より一層の楽しさを見出した遊びとなっていく。

③「光との出会い」

3歳児にとって初めて出会う「ひかりのへや」という日常と異なる空間で、興味を持って様々なマテリアルに触れていく、最初の出会からそのプロセスを探求した。

まずは光そのものに興味をもって、点けたり消したり、光を追いかける、大きさが変わるなどシンプルな動作から興味が始まり、様々なマテリアルに光をあてると色の変化し、輝きを増すところに目を奪われたり、「わぁ！」と声をあげて感嘆したり、「こっちはどうだろう」と別のものを持ってきて試す様子も見られる。そして、光をあてると影が映ることに気づき、その発見が面白さとなり、繰り返しあそびとして楽しんでいた。



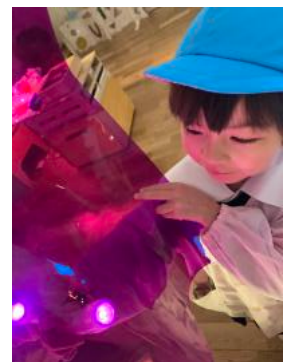
「うつった!」「きれい〜」「みえる?」「みつけた!ここ!」「ちっちゃいまる〜おっきくなった!」

保育者も一緒に懐中電灯で光を動かすと、子どもたちも同じように動かして、遊びながら光の変化に気づいていく。様々なマテリアルに触れ、保育者とのかかわりのなかでそれぞれの“きれい”“不思議”“面白い”を見つけていった。

導入として、シンプルな空間づくりとマテリアルの種類を4・5歳児より差し引いて、天井や壁面まで使って投影したり、空間全体で面白さを感じられるような体験となるよう構成した。

光と影の遊びに継続して楽しみをもてるよう、興味関心の移り変わりをキャッチし、マテリアルの精査と環境を柔軟に変化させ工夫した。

興味関心が光そのものから光と影、そして光と影が色に影響する不思議さに気づくことへと広がっていく。このような積み重ねが活動①②の4・5歳児の姿のように、想像性を育む土台となっていることと期待して、継続して工夫していきたい。





懐中電灯・スタンドライト・センサーボトル・ライトテーブル・ミラーテーブル・セロファンモチーフ等
様々なマテリアルに触れ合うことで、それを通して共感しあっている。

(左図) 壁面にプロジェクターで魚が泳ぐ映像を流している。それに合わせて、サカナやクラゲのモチーフを
揺らし、画面を通し一体となって楽しんでいる。

(右図) 緑のセロファンを貼ったライト。手を当てると「みどりになっちゃった!」とお互いに見合わせてい
る。

4. 振り返り～3つの探求活動を通して～

人的環境として、アトリエリスタは環境からのアプローチという面で大きな役割を担い、子どものあそびの自発的なプロセスを見守りつつ、さらに幅が広がっていくようなマテリアル活用の提案をする。それは常に美的観点、アートにフォーカスしたかわりとなる。今回特に効果的に感じた援助内容としては、「子どもがイメージしたものを具体化するための、より専門的なマテリアル活用のアイディアとスキルによって子どもと共に制作し、あそびをより子どもがイメージした内容に近づけていくこと」である。この援助によって、子どものあそびが更に具体的になり、そこからまた遊びを深めていくための新たなイメージが生まれる、という循環を良好に形成することができたと感じている。

また、保育者は子どもと一緒に遊び、アトリエという幻想的で日常と異なる空間の中で子どもが普段のように安心して遊び込むための人的環境として重要な存在である。実際に子ども達が「ひかりのへや」で遊んでいる時に担任の保育者が加わることで、子どもは安心して遊ぶことができる。そして、保育者があそびに対して共感し、発見し、楽しむ様子、疑問を投げかける様子等を演じ、見せることで、結果として子どものあそびを盛り上げ、あそびに対する意欲をより促進していたと感じる。

今回挙げた3つの活動は、「光と影と色」というテーマにおいて、地続きにつながっている積み重ねゆえの子どもたちの姿であり、保育者・アトリエリスタのかかわりであり、環境構成である。そして「はいしゃさんごっこ」は、インスタレーションやマテリアルから受けたイメージにより、子どもが自然発生的に生み出したものであった。今後もこのようにイメージのきっかけとなりうるようインスタレーションによる環境構成、マテリアルの選択を大切にしていきたい。

以上のことから、アトリエ空間ならではのあそびをいかに日常になじませ、継続的なあそびとして蓄積させていけるかどうかは、保育者とアトリエリスタ両者の特性を生かし、子どもの様子を共有しあうことにより、より子どもへの理解を深め、子どもの興味関心の実際に即した環境構成や援助に近づいていくことで実現可能性を高めていけるものと考えている。

*やはた幼稚園 HP「アトリエだより」にて探究活動のプロセスを掲載

URL : <https://yahatayouchien.com/atelier/>

*活動の掲示（右：写真）

保護者にもご覧いただけるよう
園内にて掲示した。(送り迎えの
際に見やすいよう屋外掲示)

